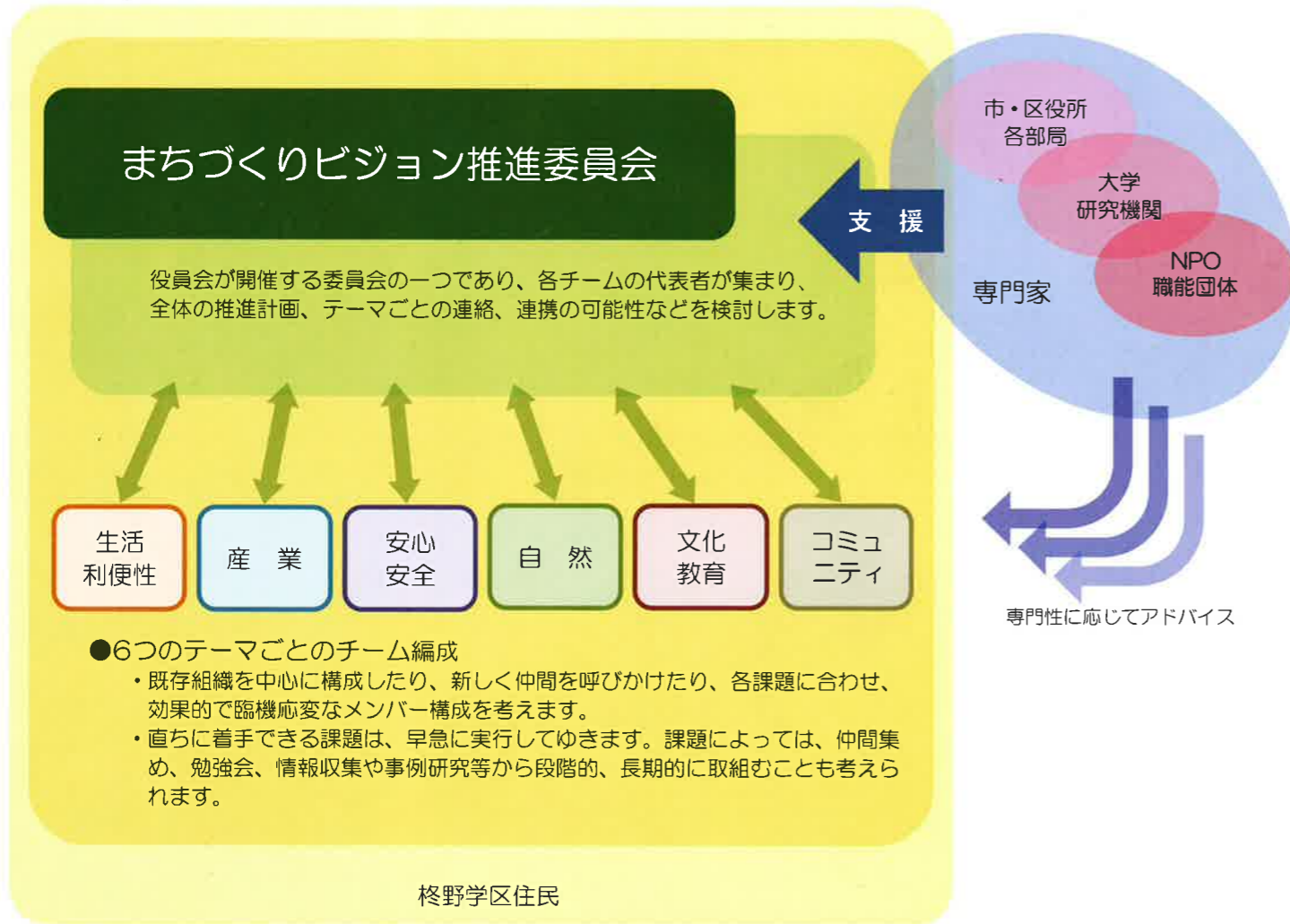


## ビジョンの推進に向けて

- ① 6つのテーマ毎に編成したチームと、『まちづくりビジョン推進委員会』で進めてゆきます。必要に応じて、大学・NPO・行政など地域内外の関連機関と協力、連携しながら取り組みを進めます。
- ② テーマごとのチーム編成は、世代の拡がりをもった学区民の参加を目指します。

【まちづくりビジョン推進体制のイメージ】



# ふるさと柘野

## 柘野学区まちづくりビジョン

【概要版】



### ～ 柘野学区の更なる発展を目指して ～

#### 柘野学区の特徴と課題

柘野学区は自然に恵まれた地域であるとともに、地域の活動は活発で、若々しさが大きな特徴といえます。一方、交通、道路や地域コミュニティへの未参画問題、また自然災害への備えなど、様々な課題があることも事実です。柘野町内会連合会では、皆さんからのアンケートによって、柘野学区の将来のすがた、あり方を求めて検討してまいりました。

#### 「柘野まちづくりビジョン」のこれから

このたび、行政等の協力もいただきながら「柘野学区まちづくりビジョン」として取りまとめることができました。その目標期間を10か年（H25～H34）として、京都市や北区の基本理念と関連づけて、取り組んでまいります。《より暮らしやすい、活力あるまちづくり》にむかって、学区をあげての取り組みですので学区民の皆さんのご協力ご支援をなにとそよろしくお願い申し上げます。

※内容の詳細については、『ふるさと柘野』本編をご覧ください。

発行者：柘野町内会連合会・柘野社会福祉協議会

発行年月：平成25年4月



ビジョンのあらまし

柘野はいま…

だから…  
(スローガン)

どうする…  
(基本テーマ)

何をする…  
(具体的な取組み)

現状と特色

- ・自然豊かな田園地帯
- ・教育、文化研究機関も多く立地
- ・北区の中でも希少な人口増加地帯
- ・町内会各種団体を中心にコミュニティ活動が活発
- ・社寺が多く、伝統的行事が大切に執り行われている
- …など

課題

- ・交通、道路、まちの整備が必要な個所が多い
- ・公共施設の未整備
- ・地域産業の衰退
- ・担い手不足と休耕田増加の可能性
- ・自然災害への備え
- ・美しい景観の保全
- ・伝統文化の継承
- ・地域の人材の発掘と活用
- ・町内会への加入世帯数が停滞傾向
- …など

希望と活力にあふれる「コミュニティづくり」

(1) 生活利便性

便利で住みやすい暮らしを目指す

(2) 産業

水・農を中心に地域の発展と住民の豊かさを展望する

(3) 安心・安全

安心して安全に暮らせるまちを目指す

(4) 自然

恵まれた自然を守り、育て、生かす

(5) 文化・教育

柘野の文化を受け継ぎ育む人づくり

(6) コミュニティ

住民一人ひとりが支えあい、輝けるコミュニティづくり

- ①生活の利便と地域発展のための道路の整備、公共交通機関の充実
- ②快適な生活環境の開発のための公共施設の充実
- ③医療・安全施設の充実、新設
- ④すぐれた景観づくりと地球の環境問題に呼応したキャンペーン
- ⑤地域内外の民間機関 改機関との連携

- ①産・官・学が連携した柘野の地域産業を育てる仕組みの検討
- ②地域産業の積極的展開
- ③循環型環境と自然エネルギーの活用を進める

- ①まちの防災体制と機能の強化
- ②日常生活の安心、安全の確立
- ③世代を越えた交流と支え合いの推進
- ④近隣地域との広域共同、協調の取り組み

- ①住民による美化と利用者マナーの向上促進
- ②賀茂川等の河川環境の整備
- ③遊休地等の有効利活用
- ④自然や田園を生かした柘野らしい景観づくり

- ①郷土をいつくしみ、地域の伝統行事を守り伝える
- ②大学や研究機関と連携した文化的なまちづくりの推進
- ③生涯学習の推進
- ④小・中学校における教育への参画

- ①学区内広報の推進（情報ネットワークの整備）
- ②町内会加入に関する広報対策
- ③特別会員(仮称)の創設
- ④地域課題の解決に向けたビジネスの展開
- ⑤学生と地域との繋がり強化
- ⑥みんなが集い、語り合い学びあう場づくり

魅力あふれる柘野ですが、解決すべき課題も多くあります。

学区民みんなが、スローガン『希望と活力あふれるコミュニティづくり』を共通認識として、各課題に取り組んでゆきます。

柘野のコミュニティをベースとした6つの柱のもと、まちづくりの具体的な取り組みを推進してゆきます。



個々の課題に計画性を持って取り組んでゆきます。各取組は、社会の変化に合わせて、柔軟に対応してゆきます。

おおむね10年先を目標期間として、外部機関とも連携しながら、学区を挙げた取組としてゆきます。

→取組体制については裏面をご覧ください。

